

「とやまブランド」を担う水稻新品種の育成

えびたに たけし
蛸谷 武志（農業研究所）

1 はじめに

富山県の水稻の作付面積は約 40,000ha で、そのうち「コシヒカリ」が約 80%を占めています。富山県産「コシヒカリ」は、全国的にも高い評価を受けており、新潟県産に次ぐ水準の価格で流通していることから、「コシヒカリ」生産のメリットは大きく、今後とも「とやまブランド」の中核であると考えています。しかしながら、1品種への過度の作付け集中は、適切な栽培管理や適期収穫を妨げたり、また、機械の利用効率を低下させ生産コスト上昇の一因となったりする恐れがあります。そこで、県では米の収穫時期別の面積割合を『早生2：中生7：晩生1』への誘導を進めています。

新品種開発はその一環で行ってきた研究で、その結果、早生の「てんたかく」、晩生の「てんこもり」を育成しました。また、高級酒用原料として全国的に評価の高い「山田錦」は本県では作りにくく、そのため酒造メーカーでは県外から「山田錦」を購入しているという現状に対処するため、優れた酒造適性と栽培しやすい特性を持つ「富の香」（とみのかおり）を育成しました。

2 成果の内容

1) 「てんたかく」 — 気象変動に強い早生品種 —

母：「越南 146 号（後の「ハナエチゼン）」、父：「東北 143 号（後の「ひとめぼれ）」。

- (1) 出穂・成熟期 「コシヒカリ」より出穂期で 8 日程度、成熟期で 14 日程度早い。
- (2) 草姿 「コシヒカリ」より稈長は 11cm 程度短く、穂数は 14%程度多い。
- (3) 栽培特性 耐倒伏性は「コシヒカリ」より強く、収量は「ハナエチゼン」と同等。
- (4) 品質・食味 玄米外観品質は極めて良く、高温登熟性に優れる。食味は、「ハナエチゼン」より優れる。

2) 「てんこもり」 — 直播適性が高く、食味が良い晩生品種 —

母：「富山 36 号」、父：「と系 1000」。

- (1) 出穂・成熟期 「コシヒカリ」より出穂期で 4 日程度、成熟期で 6 日程度遅い。
- (2) 草姿 稈長は「コシヒカリ」より 10cm 程度短く、穂数は、「コシヒカリ」よりもやや多い。
- (3) 栽培特性 耐倒伏性は「コシヒカリ」より強く、特に、直播で差が大きい。
- (4) 収量 移植では「コシヒカリ」と同等であるが、直播では「コシヒカリ」よりも多い。
- (5) 品質・食味 玄米外観品質は極めて良く、食味は「コシヒカリ」と同等。

3) 「富の香」（とみのかおり） — 高級酒向け酒米品種 —

母：「山田錦」、父：「富山酒 45 号（後の「雄山錦）」。

- (1) 出穂・成熟期 「山田錦」より出穂期で 5 日程度、成熟期で 6 日程度早い。
- (2) 草姿 稈長は「山田錦」より 13cm 程度短く、穂数は、「山田錦」と同程度。
- (3) 栽培特性 耐倒伏性は「山田錦」よりやや強く、穂発芽性は「山田錦」の易に対し、中、脱粒性は、「山田錦」の易に対し、難。

(4) 収量 「山田錦」より明らかに多く、「五百万石」と同程度。千粒重は、「雄山錦」よりやや軽く、「山田錦」より1g程度重い。

(5) 酒造適性 心白発現率は、「山田錦」より明らかに高く、また、吟醸酒の評価は「山田錦」と同等。

表1 「てんたかく」の特性 (2004年~2007年)

	出穂期 (月/日)	収穫期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 (0~5)	収量 (kg/a)	整粒 比率 (%)	食味 (-2~+2)
てんたかく	7/28	8/31	71.3	404	0.1	50.4	84.0	-0.06
ハナエチゼン	7/22	8/25	76.6	432	0.2	48.7	72.9	-0.17
ひとめぼれ	7/28	9/2	79.1	471	2.4	58.7	63.5	0.03
コシヒカリ	8/5	9/13	82.8	353	2.7	55.3	74.9	-0.05

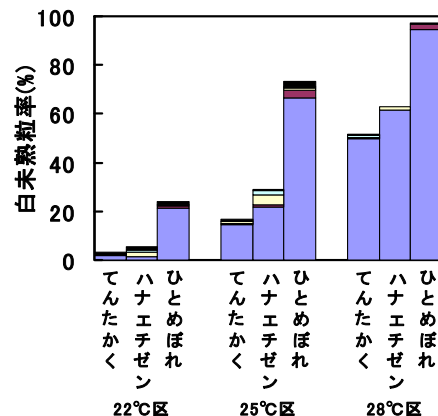


図1 「てんたかく」の高温登熟性 (2003年)

表2 「てんこもり」の特性 (2002年~2007年)

	出穂期 (月/日)	収穫期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 (0~5)	収量 (kg/a)	整粒 比率 (%)	食味 (-2~+2)
移植 てんこもり	8/7	9/17	73	418	0.7	55	86	-0.09
移植 コシヒカリ	8/3	9/11	83	388	2.6	55	72	-0.05
直播 てんこもり	8/13	9/24	76	477	0.8	55	91	-0.02
直播 コシヒカリ	8/8	9/17	86	439	3.1	50	77	-0.13

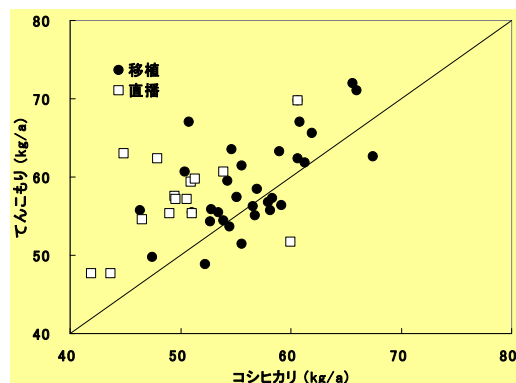


図2 「てんこもり」の収量性 (2004年~2007年)

表3 「富の香」の特性 (2005年~2007年)

	出穂期 (月/日)	収穫期 (月/日)	稈長 (cm)	倒伏 (0~5)	脱粒 (0~2)	穂発芽 (0~9)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	心白 発現率 (%)
富の香	8/15	9/24	90	1.7	0.0	5.5	49	27.4	73.2
山田錦	8/20	9/30	103	2.2	2.0	7.3	43	26.3	42.2
雄山錦	7/27	8/29	79	0.1	0.0	4.5	55	27.6	85.3
五百万石	7/24	8/27	78	1.3	0.0	3.8	47	26.2	72.4

倒伏、脱粒、穂発芽は、数値が大きいほどしやすい。

表4 きき酒の結果 (2007年~2008年)

製造場	区分	2007年		2008年
		6月28日 (1回目) 一般および 酒造関係者	11月26日 (2回目) 酒造関係者	7月3日 (3回目) 一般および 酒造関係者
A社	富の香	28	22	35
	山田錦	20	10	29
B社	富の香	22	17	33
	山田錦	26	15	31
C社	富の香	23	18	38
	山田錦, 雄山錦, 雄町	23	14	26
	富の香	—	—	36
D社	五百万石	—	—	28
	富の香	73	57	142
合計	富の香	73	57	142
	対照	69	39	114

きき酒の評価方法は、同一製造場で作られた「富の香」で仕込んだ酒と対照区分の酒(「富の香」以外で仕込んだ酒)とを比較し、美味しいと判断した方に1票を投じるという方法で実施した。

3 おわりに

平成20年度の作付面積は、「てんたかく」が約4,000ha、「てんこもり」が約500ha、「富の香」が8haでした。ますます激化すると予想される産地間競争に打ち勝つため、今後とも消費者、生産者の両方にメリットがあるような「とやまブランド」を担う品種を育成していきます。